

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗 nephrin 抗体の関与』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 腎センター 職位・氏名 講師・橋本淳也

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗 nephrin 抗体の関与を調査することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、巣状分節性糸球体硬化症の患者さんにおける腎移植の治療成績改善につながります。

【他機関への提供】

上記の試料・情報を当科から研究代表施設である東京女子医科大学腎臓小児科に、あなたの個人情報が分からないようにして提供します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液と移植腎生検の残余検体の一部 など

情報: 病歴、治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 など

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 10 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【試料・情報の取得方法】

対象者: 東邦大学医療センター大森病院腎センターに通院または入院し、巣状分節性糸球体硬化症より末期腎不全に至り、1993 年 1 月から 2024 年 8 月までの間に腎移植を行ない、現在は当院に通院されていない患者さん

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

また、ご提供いただいた血液と移植腎生検の残余検体などで、抗 nephrin 抗体を測定します。

【研究組織】

代表施設名: 東京女子医科大学 腎臓小児科 研究代表者: 三浦 健一郎 役職: 准教授

共同研究施設名: 東邦大学大森病院 腎センター 研究代表者: 橋本淳也 役職: 講師

【利用する者の範囲】

東邦大学大森病院 腎センター 研究責任者: 橋本淳也 役職: 講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年9月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森 病院 腎センター

職位・氏名 講師・橋本淳也

電話 03-3762-4151 内線 6757